「不登校児」「ひきこもり青年」「児童福祉施設」
・・・正しい理解とは？ニーズに合った支援とは？

相談機関が関係者を加え講座を揃えました

こんなことをお悩み／お考えではありませんか？

✔不登校児の学校復帰やひきこもり青年の社会復帰がうまくいかないのはどうして？
✔「施設の子どもたちのために」とランドセルなどが送られていたけど、それだけでいいの？
・・・そんなことを、まとめて学習できる機会があります。

ご存知のとおり、オープンカレッジとは大学などがその人材を活用して一般向けに開講する講座。
これと同じことを、民間非営利相談機関（相談ＮＰＯ）が初めて行うことになりました。

主催は、神奈川県藤沢市で不登校・ひきこもりなどの青少年を支援している「**ヒューマン・スタジオ**」。相談援助のほか啓発のための執筆活動や学習会などのイベント開催など幅広い業務を展開しており、このオープンカレッジもその一環。代表兼相談員の丸山康彦のほかにも、これまでに出会った優れた人材を活用し、**安価でありながら本格的な学びの場**をご提供します。

このオープンカレッジは、次のような方に役立ちます。

□わが子の不登校やひきこもりにお悩みの親御さんなどご家族や関係の方
不登校やひきこもりの心理や本人への見方、面接相談と家庭訪問の目的や実践例、フリースクールの実態、など本人への理解や対応の参考になる講座で、お悩みや疑問を解消するヒントを得ることができます。

□青少年支援活動をしたい方、青少年をめぐる社会の状況や仕組みを知りたい方
一般の市民・学生の方にも参考になる内容がいっぱいです。不登校やひきこもりへの理解、相談援助の技法、フリースクールのスタッフやスクールソーシャルワーカーの仕事ぶり、といった青少年支援に必要なことを学べるほか、児童福祉施設の施設長から「何をしてほしいか」を聞いたり、青少年が置かれている困難な状況を具体的に聞いたりすることができます。

□青少年支援の団体・施設の種類や活動内容を知りたい方
スタジオの地元湘南地域は「不登校」「ひきこもり」「発達障碍」「ＤＶ（近親者への暴力）」「虐待・貧困」といった課題に取り組むＮＰＯや児童福祉施設がひと通り所在しているため、それら団体・施設の代表者が相互理解を深める懇談会を開催します（全部揃うわけではありません）。これを自由に観覧して各団体・施設の内容を知ることにより、ご利用や活動参加のための情報が得られ、他地域の団体・施設の見方もわかります。

「こんな話ができる人がいたんだ！」と思わせる講師陣です。

当スタジオでは、人気や知名度のある人ではなく「**現場の様子をリアルに描き出すことができる人**」という１点に絞って人選しました。すなわち、全員が青少年支援の現場における現役の関係者か元関係者。だから理論やきれいごとだけではない活きた話、説得力ある話をすることができるのです。

ぜひ、必要と関心とご都合に合わせて講座をお選びください。

講 座 詳 細

受講にあたってのお願い

＊各講座ともアシスタントまたはスタッフが付き、有料テキストの代金お支払い、当日のお申込みやお支払いのお申し出などお受けいたします。
＊各講座ごとにアンケート用紙へのご記入をお願いいたします。
＊写真撮影と録音は固くお断りします。ただし、主催団体により受講者ご承諾のうえお顔がわからない角度で写真撮影させていただくことがありますのであらかじめご了承ください。
＊公開講座の受講料は、全額震災復興支援に寄付いたします。

６月１９日（日）

①公開講座：湘南青少年支援公開懇談会「不登校・ひきこもり・発達・暴力・貧困」

１３時１０分～１５時００分／地球市民かながわプラザ大会議室／定員：３０名

東から「鎌倉・藤沢・茅ヶ崎・平塚」の４市を「湘南地域」と想定し、その地域に所在している小規模団体・施設に呼びかけて自主的な地域懇談会を初開催します。これを公開して自由に観覧していただき、懇談の合間にご意見ご質問をお受けするなどして各団体・施設の情報を得ていただくとともに、現代の青少年が置かれている状況を一緒に考えていきます。

資料（無料）
『増補版・湘南ミニ青少年支援団体リスト』（予定）

〔発題１〕増田康仁『子どもたちへ：きみたちの未来へ向けて』
（フリースクール「湘南憧学校」主宰）

〔発題２〕黒金玲子『親御さんへ：真の教育とは』
（高校・技能連携校非常勤講師、個人事務所「R-You」代表）

〔発題３〕丸山康彦
『関係者へ：「支援」ではなく「使縁」の地域ネットワークを』
（ヒューマン・スタジオ代表兼相談員）

②児童福祉施設の子どもたち～タイガーマスク現象の陰で～

１５時２０分～１７時１０分／地球市民かながわプラザ大会議室／定員：１５名

児童相談所や児童養護施設への寄付行為が全国的に広まっている今、子どもたちが望んでいる支援を知ることが、善意をさらに活かすことになります。そこで、児童養護施設を退所した未成年者を預かる「自立援助ホーム」の施設長が、児童福祉制度の解説はもとより、虐待や貧困をはじめとする現代の子どもたちを巡る状況をお話ししながら、誰でもできる支援方法を伝えます。

〔講師〕前川礼彦
自立援助ホーム「新宿寮」職員を 11 年勤務。その後横浜市を除く神奈川県内に無かった自立援助ホームを開設するべく奔走し５年前に茅ヶ崎市内で開設を果たした情熱家。柔らかな物腰と上品ななかに芯の強さを感じさせる語り口で、子どもたちの実情を語り尽くす。（アシスタント：増田康仁）

③スクールソーシャルワーク～学校と地域の子ども支援～

１５時２０分～１７時１０分／地球市民かながわプラザ研修室Ｂ／定員：１５名

文科省による配置事業がスタートして３年目。神奈川県では活躍の場が広がりつつある方向になっている「スクールソーシャルワーク」とは、どのような子どもにどのような支援をするものなのでしょうか。その理念と実践の基礎を解説することはもちろん神奈川県内ではどのように配置され、どのように活動しているかといった現状も含め、実践者としての目線からお話しします。

〔講師〕芦田正博
社会福祉士、介護支援専門員。日本社会事業大学社会福祉学部卒。横浜市社会福祉職を経て、日本社会事業大学大学院福祉マネジメント科（専門職大学院）修了後、社会福祉士事務所「ソーシャルワークオフィス　テディ」設立。現在、神奈川県と横須賀市のスクールソーシャルワーカーとして実践を行っている。

湘南地域の団体・施設の活動展

１３時００分～１７時３０分（中断あり）／地球市民かながわプラザ展示コーナー／出展：ヒューマン・スタジオ他

懇談会参加団体・施設による活動展示会。ポスターや写真などの展示や案内の配布はもとより、質問をお受けすることもできます。最初の受付時や公開講座の途中、講座の合間の移動の際や終了後などにぜひお立ち寄りください。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６月２５日（土）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

④脱常識ひきこもり論～親亡きあとのわが子は･･･～

１３時００分～１４時５０分／県立青少年センター別館青少年サポートプラザ活動室１－３／定員：１５名

荒れたり落ち込んだり、際限なく同じ言動を繰り返したりする状態にある不登校児とひきこもり青年。さらに、ひきこもりが長期化していて先が見えない状態にある青年。彼／彼女らに親御さんができることは何でしょうか。このことについて書いたメールマガジンの文章を収録した小冊子を読んで解説したうえ、親の姿勢や親と本人への支援のあり方についてご一緒に考えます。

〔講師〕丸山康彦

相談所「ヒューマン・スタジオ」代表兼相談員。元高校講師。不登校のため高校を７年かけて卒業。講師退職後、ひきこもっている最中に青少年支援を志し、10 年前に個人事務所を突如開設。2001 年 10 月から現職。ここでは、元当事者と相談員の両方の立場を活かして、原点に立った考え方を投げかける。

テキスト（200 円）

『ワンポイントブックレット［７］　脱常識思考で対応しよう～不登校・ひきこもりの見方～』

アシスタント：北村るみ子（ひきこもり関係の会世話人）

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

受講要項

講座数：通常講座６（うち２講座は同時間帯)、公開講座（申込不要・受講料任意）１、ほか活動展あり。

受講料：１講座８００円から選択講座数が増えるごとに１００円ずつ値引き（最大５講座の選択でも合計３０００円)。ただし公開講座のみ震災復興支援金として５円以上任意の額をカンパ。一部の講座は資料代別途。なお開始後に追加申込みくださる場合は、１講座追加ごとに８００円（値引き無)。

支払い：選択した講座数に応じた合計額（右の早見表参照）を、原則として事前に全納（銀行振込か郵便振替）ください。ただし公開講座のみ受講の方と追加申込みの方は当日会場の受付でお支払いください。

講座数	合計額
1	８００円
2	１５００〃
3	２１００〃
4	２６００〃
5	３０００〃

振込先：横浜銀行藤沢支店　普通１４０３７４１　ヒューマン・スタジオ
郵便振替用紙　００２４０－５－４４２０２　ヒューマン・スタジオ

締切り：１日目から受講の場合は６月１６日、２日目以降受講の場合は６月２３日。間に合わない方は最初の受講講座の受付で全納ください。

申込み：次のいずれかの手順でお願いいたします（宛先は最下部に記載)。

□本紙に挟み込んである申込書にご記入のうえ郵送かＦＡＸで送付
□受講希望のメールを送信し、返信に添付の申込書にご記入のうえ返信
□最初に受講する講座の会場で申込書にご記入

※申込書は、配架の際に散逸防止のため挟み込まれていない場合があります。その場合はご請求いただくか、当日会場の受付で受け取ってご記入ください。

締切り：１日目から受講の場合は６月１７日、２日目以降受講の場合は６月２３日。それ以降は最初の受講講座の受付にお申し出ください。

会場のご案内

青少年サポートプラザ

プラザ：ＪＲ・地下鉄「桜木町」駅、京浜急行「黄金町」駅＞各 10 分／バス「紅葉坂」停＞４分、「戸部１丁目」停＞２分
会　館：ＪＲ・地下鉄「桜木町」駅＞３分

地球市民かながわプラザ（あーすぷらざ）

ＪＲ本郷台駅＞３分

お申し込み、お問い合わせ、別紙ならびに申込書（無い方）のご請求は

ヒューマン・スタジオ

〒251－0031 藤沢市鵠沼藤が谷３－１２－２８悠生館
TEL ０４６６－５０－２３４５
FAX ０４６６－５４－７６０８　ﾒｰﾙ husta@nifty.com
※電話はつながらないことがありますのでご了承ください。

青少年を人生の主人公にする相談機関

ヒューマン・スタジオ

稀有な援助法　不登校とひきこもりには元当事者による独自の支援手法を用います。
必要に応じ訪問支援中心のスクールソーシャルワークを実践します。

多様な利用法　相談できない方にもご利用いただける業務を多数取り揃えています。
特にメールマガジンは不登校とひきこもりの理解に最適と好評です。

☆青少年支援を広い視野で実践する

青少年本人だけに努力を強いることなく、周囲の人と資源が適切に対応できるよう各方面に働きかけて支援環境を整備することを目的に、多彩な業務を実践している新発想の相談機関です。

☆３本柱の業務を自由に選択できる

業務は「相談」「公開」「情報」という３つのカテゴリーをご用意。そのなかから自由に選択して利用できます。当事者（本人・家族）はもちろん、関係者や一般の方が利用できる業務もあります。

業務内容

＊相談業務（不登校、ひきこもり、家族・学校の悩み）…ホワイトボードで解説する面接が好評
＊公開業務（親の会、オープンカレッジ、青少年支援セミナー等）…お気軽に自由参加で学びを
＊情報業務（メールマガジン、ブックレット等）…どこでも読める体験的不登校・ひきこもり論
※おことわり：この業務分類はまだホームページに反映されておりません。ご了承ください。

おかげさまで１０月１日に設立１０周年を迎えます。この日は記念行事を開催し、不登校・ひきこもりへの当スタジオの考え方をあらためてご紹介。そんな当スタジオをぜひご利用ください。

利用者の声

◎わが子と話すことが楽になりました。（相談援助）
◎勇気がもらえる。生きた教材、現実にそくした話。理論どおりの勉強会でない。また出ます。（親の会）
◎いろいろな本を読みましたが『ごかいの部屋』がいちば

お問合わせ・資料ご請求

☎０４６６－５０－２３４５

E-mail husta@nifty.com

月水木土 10～16 時（他の曜日と祝日は*原則休業）

※業務実施中は電話がつながらないことがあります。その場合、時間外や休業日でもかまいませんので再度お願いいたします。
※*原則休業：「ご予約がなければ休業できる日」のことですが、なかには相談等をご利用いただける日があります。なお、ほかに臨時休業する場合もありますのでご了承ください。

藤沢市鵠沼藤が谷３－１２－２８悠生館（江ノ電鵠沼駅徒歩５分）　http://homepage3.nifty.com/Husta/
代表兼相談員：丸山康彦（青少年支援ガイド）　ほかスタッフ：３名（2011 年４月現在）
PROC/2011.5